

令和 5 年度事業計画

和歌山県観光連盟（以下「観光連盟」という。）と県では、「和歌山ブランドの拡大」と「持続可能な観光地づくり」を基本コンセプトに、メディアや旅行会社に対し継続的な企画提案活動を展開し「和歌山の魅力」を発信する一方、地域の皆さまと連携した観光資源開発・商品づくりにより「和歌山の魅力」を向上させてきました。

本県観光産業は、令和 2 年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きな打撃を受けたところですが、社会経済活動の正常化、水際措置の大幅緩和等により回復基調にあります。この回復を着実なものとしコロナ禍からの反転攻勢を図るべく、県と協働し「環境にやさしい観光地づくり」「大阪・関西万博に向けた誘客促進」「滞在期間の延長と消費拡大」を目指した取り組みを推進していきます。

本年から 3 年間は、観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しであり（*）、この期間を「ダイヤモンドイヤー」と位置づけ、積極的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客に努めるとともに、観光産業の復興に取り組んでいきます。

- （*）令和 5 年 弘法大師御誕生 1250 年
- 令和 6 年 「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録 20 周年
- 令和 7 年 大阪・関西万博

本県は、観光連盟の職員が、これまで築いたメディアや地域とのネットワークを活かし、情報発信をはじめとする様々な事業を積極的に展開したことなども功を奏し、じゃらん宿泊旅行調査 2022「都道府県魅力度ランキング編」の総合満足度で全国第 1 位に、世界的ガイドブック「ロンリープラネット」が最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」の「読者が選ぶサステナビリティ（持続可能性）に配慮した観光地」に選ばれるなど、国内外からの評価が高まり注目を集めています。

令和 5 年度においても、「和歌山の魅力発信」と「和歌山の魅力向上」を主軸として、観光連盟の強みである「専門性」「継続性」「機動性」「官民連携」を活かした取り組みを推進し、県との協働により、本年度は「世界遺産（紀伊山地の霊場と参詣道）」「サイクリング王国わかやま」「アウトドア観光」「温泉と食」「受入体制の基盤整備」「インバウンド誘客」を重点項目とし、取り組んでいきます。

具体的には、和歌山県を代表する観光情報誌「紀州浪漫」の全国展開、国内外のメディア露出に向けた提案活動やロケの誘致活動、ウェブサイトや SNS などを通じて、アクセス解析データに基づくユーザーニーズに応じた効果的な情報発信を行います。併せて、コンテンツ予約のデジタル対応など、ポストコロナ時代に向けた非接触の観光スタイルも展開していきます。取材やロケの実施に際しては、スケジュール作成や関係機関

との調整、現地案内など万全の受入体制を取り、旅行動機を喚起させる成果品や質の高い作品づくりの支援に努めます。また、10月に開催予定の観光展「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」など発信力のある展示会への出展や、昨今取り組んできた全国旅行業協会加盟の第2種、第3種の旅行会社に対する提案活動を継続して実施するとともに、コンベンション誘致にあたっては、充実した観光資源を活用した和歌山ならではのエクスカーション等を提案し、県内開催の実現につなげます。また、高齢化が進む紀州語り部の次世代の担い手を確保するため育成研修を昨年に引き続き実施します。

インバウンドの誘客に向けた取り組みについては、FIT（外国人個人観光客）の急伸や訪日旅行の目的・行き先の多様化に対応した情報発信を推進してまいります。国内同様メディア対策に重点を置き、各国マーケットの状況に応じた現地セールス等を実施します。

また、ポストコロナを見据えた、情勢を踏まえた観光施策のスピーディーかつ柔軟な展開として、適切なタイミングで各種キャンペーン・施策を実施していきます。

他方では、県内の観光関連事業者の皆様にご参加いただき、各施設・店舗等の詳細情報を会員情報として発信することで、観光連盟ならではの個別具体的な和歌山観光の魅力を伝えていきます。

以上の施策展開に際しては、観光連盟の強みであるメディアや地域との繋がり、広い人脈を十分に活かし、マーケットニーズと観光資源とのマッチングを念頭に置きながら、観光業界のリーダーとして和歌山県の観光振興に取り組んでまいります。

1 和歌山の魅力発信

(1) 和歌山県観光情報誌「紀州浪漫」等制作、動画及び SNS 活用による情報発信
(28,965 千円)

①県観光情報誌等の制作 年4回 260,000部

県観光情報誌「紀州浪漫」は、発刊から 22 年目を迎え、本県を代表する観光情報誌として定着しています。旬の観光情報とマーケットニーズに即応する誌面を制作し、主要書店はじめ全国に情報発信します。また、観光連盟ホームページへの旬の情報掲載や国内最大級の旅に特化した WEB メディアとのタイアップなど、WEB コンテンツの充実を引き続き行います。

<時期等> 年4回(6、9、12、3月)発行 各65,000部

<配布> 全国のメディア、和歌山ファンクラブ、全国の主要都市の主要書店約70店舗等

<WEB> 和歌山県公式観光サイト内に「旬のおすすめ情報」を掲載。また、国内最大級の旅に特化した WEB メディア「RETRIP」内に和歌山記事を掲載し、アーカイブする。

②動画及び SNS 活用による情報発信 8回

観光連盟 YouTube チャンネル「わかやま観光」に動画を公開し、SNS 広告及びインフルエンサーによる拡散を図る。

<時期等> 年8回(6、7、9、10、11、12、2、3月)公開

<内容> 主に20~30代をターゲットとし、年間8本の動画を作成し公開する。それぞれを SNS 広告により拡散し、そのうち1本は、インフルエンサーの出演と情報発信を含む。

〈和歌山へ招く〉

(2) メディア対策 (34,313 千円) 50 媒体

①メディア出稿並びに企画提案活動の実施

テレビ、ラジオ、雑誌、WEB、SNS 等の各種メディアを活用した情報発信を企画・テーマに応じ媒体を選定し、ターゲットとする層に効果的に訴求します。

また、それぞれの媒体とコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材の提案活動を首都圏や京阪神を中心に実施します。

○雑誌・WEB 等への出稿等

<時期> 通年

○提案活動実施

・首都圏、京阪神を中心に全国

<時期> 通年

○取材、ロケ、ロケハン等の支援

- ・スケジュール作成、関係機関等との調整、現地案内

<時期> 随時

○動画の活用

- ・動画の活用により、和歌山県の魅力を紹介

<時期> 通年

②SNS を活用した情報発信の実施

Instagram、Twitter、Facebook 等の公式アカウントを活用し、SNS の特性に合わせた観光情報を効果的に発信していきます。

また、サイクリング、アウトドア、グルメなど各分野に影響力のあるインフルエンサーを招致し、それぞれの SNS で魅力を発信していただきます。

○インフルエンサーの招致、SNS での発信

<時期> 随時

③アウトドア観光の展開

和歌山の豊かな自然を活かしたアウトドア・フィールドの魅力を発信します。

グルメ、アウトドア、女子旅など、効果的なカテゴリーのメディアから発信することでそれぞれのコンセプトにあった旅モデルを提案します。

○雑誌、WEB への出稿等

<時期> 通年

④「WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま」の展開

総延長約 800 k m の海・川・山のサイクリングロードを誇る「サイクリング王国わかやま」の魅力を国内外のサイクリストに自然、歴史、文化、食などと併せて体験してもらうためのプロモーションを展開します。さらに、サイクリングを趣味としない層に対しても、健康や美容面で有効なサイクリング旅などを提案します。

また、有名ロードバイクメーカー等とタイアップすることで、そのブランド力を活用した取り組みを実施します。

○雑誌、サイクリング系 WEB への出稿や SNS の活用等

<時期> 通年

⑤企業とのタイアップ

サイクリングやトレッキングなど有名メーカー等とのタイアップの推進により企業側のパブリシティとブランド力を積極的に活用します。

○有名サイクリング関連企業等とのタイアップ

詳細：④「WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま」の展開

〈和歌山へ招く〉

⑥わかやまパンダ大使「岡本玲」さんによる PR

わかやまパンダ大使の「岡本玲」さんに、観光イベントやメディア出演を依頼し、広く情報発信を行っていただきます。

<時 期> 随時

<和歌山へ招く>

⑦観光連盟ホームページ

「旬のおすすめ情報」や「サイクリング」などのおすすめコンテンツや、「高野山」「熊野」「グルメ」等、常時アクセスの多いコンテンツをトップページに配置し、和歌山の旅の魅力を発信します。

さらに、アクセス解析データに基づくユーザーニーズに応じた更なる内容の充実、情報収集を図ります。

<時 期> 通年

<和歌山を売り出す、和歌山へ招く>

⑧効果的な広告出稿

ターゲットに確実に訴求できる専門紙や季刊誌への広告掲載や、各種キャンペーン、旬の情報等の雑誌、新聞広告について、費用対効果を勘案しながら実施します。

<時 期> 随時

<和歌山へ招く他>

(3) 「わかやまフィルムコミッション」による映画等のロケ誘致

(1,300 千円) 10 件

ジャパン・フィルムコミッションのネットワークを積極的に活用し、業界関係者に強く働きかけ、映画やテレビ番組等のロケを誘致することで、映像を通じた魅力発信と認知度向上を図ります。

○誘致活動

- ・首都圏制作会社等への営業活動

<時 期> 随時

○ロケ実施支援

- ・ロケ受入体制の充実（ロケ・ロケハン協力、関係機関等との調整）

<時 期> 随時

- ・エキストラの動員

<時 期> 随時

○情報発信

- ・ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェアへの出展
＜時期等＞ 8月・6年1月 東京（予定）
- ・わかやまフィルムコミッション専用サイトからの発信

〈和歌山を売り出す〉

- (4) 集客力のある展示会等への参加 (10,350千円) 5回
世界最大級の旅の総合イベント「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」への出展など集客力のある観光展、展示会に出展します。

○ツーリズム EXPO ジャパン 2023

展示会に出展し、旅行意欲の高い消費者に対し、ダイレクトに本県への旅行を促すほか、同時に開催されるメディアや旅行会社の商談会に参加し、観光素材の提案を行います。

＜時期等＞ 10月26日～29日 インテックス大阪

○サイクルモドリッド大阪 2024

サイクリング王国わかやまをテーマにした観光素材やモデルコース等をアピールします。

＜時期等＞ 3月（予定） 万博記念公園（予定）

○アウトドアフェス

アウトドア愛好家が多く集まる場で体験メニュー豊富な和歌山県への旅行を促します。

＜時期等＞ 3月（予定） 万博記念公園（予定）

〈和歌山へ招く〉

- (5) 旅行会社対策 (1,200千円) 10商品

地域の団体旅行や社員旅行、FIT（海外の個人観光客）を牽引する「第2種、第3種旅行業者」や、社員・従業員、あるいは顧客向けの旅行商品を企画する、いわゆる「ハウスエージェント」に対し、旅行商品造成のための提案活動を実施します。また、全国旅行業協会都道府県支部等、旅行会社で組織される団体と連携して和歌山県の観光素材を継続的に情報発信し、観光客誘致に繋がります。

＜時期等＞ 通年

〈和歌山へ招く〉

- (6) コンベンション誘致 (9,000千円) 10件

コンベンション（国際・全国規模の各種会議や学会等）やスポーツ大会などを誘致し、大会前後のエクスカージョン、アフターコンベンションの提案・支援をします。また、世界遺産を活用したユニークベニューなど和歌山ならではの企画を提案するとともに、ニーズに合わせたサポートを実施します。

○開催支援

コンベンション開催助成金や下見助成、観光パンフレット等のツール提供により主催者を支援。

<時期> 随時

○誘致活動

- ・地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参画
協議会構成メンバー（7地区）による合同セールスに参加し、本県でのコンベンション開催に向けた営業活動を展開。

<時期> 6月、10月、1月（予定）

- ・地方都市コンベンション協議会への参画
協議会主催合同ワークショップに参加。

<時期等> 7月、11月、3月（予定）

- ・IME 2024 への出展

MICE に特化した展示会に出展し、本県でのコンベンション開催に向けたPRを実施。

<時期等> 未定

○情報発信

- ・専用ウェブページによる情報発信

<時期> 通年

<コンベンション他>

(7) わかやま紀州館事業 (27,137千円) 30媒体、20旅行商品

人や情報が集中する首都圏において、メディアや旅行会社と連携して観光素材を継続的に情報発信し、首都圏からの観光客誘致に繋がります。

“和みわかやま”東京レセプションの開催を通じた情報発信をはじめ、訴求力のある媒体への提案活動の実施、知的好奇心旺盛な方々に向けた和歌山の観光をテーマとする講座を開催し、和歌山への興味と旅行動機を喚起します。

○メディア展開

- ・提案活動の実施

<時期> 通年

- ・取材、ロケ、ロケハン等の支援

スケジュール作成、関係機関等との調整、現地案内

<時期> 随時

- ・メディア等情報交換会の開催

近畿6府県が連携し、首都圏メディア、旅行会社を対象に各府県の観光素材を紹介します。

<時期> 6月、10月、2月

○旅行会社対策

- ・ファミツアーの実施
＜時 期＞ 夏～秋
- ・旅行商品販売促進支援
旅行会社企画担当者への観光素材等の提供及び旅行会社各店舗への出前
研修を実施
＜時期等＞ 随時

○和歌山の観光をテーマとする講座の開催

- ・首都圏で、メディア、旅行会社、大学公開講座、カルチャーセンター、民間企業等との連携講座の実施
＜時 期＞ 未定

○首都圏観光物産PRイベント等の実施

- ・“和みわかやま”東京レセプション 2023
＜時 期＞ 11月30日（予定）
＜内 容＞ メディア・旅行会社関係者約300名
【第1部】 旅行会社情報交換会、観光プロモーション説明会
【第2部】 レセプション（交流会）
- ・和歌山観光PRイベント
＜時 期＞ 未定
- ・東京からの和歌山県への時刻表(アクセスガイド)の改訂
＜時 期＞ 3月 〈和歌山へ招く〉

(8) 名古屋観光センター事業 (2,800千円) 15件

年々道路環境がよくなり、本県への訪問増が期待できる東海圏を重点地域として、和歌山の魅力を継続的に発信します。東海地方のターゲットに訴求できる広告出稿や企画提案、イベント出展などを実施します。

○メディア展開

- ・企画提案活動の実施
＜時 期＞ 通年
- ・雑誌、WEB等への出稿
＜時 期＞ 通年
- ・インフルエンサーの招致、SNSでの発信
＜時 期＞ 随時
- ・取材、ロケ、ロケハン等の支援
スケジュール作成、関係機関等との調整、現地案内
＜時 期＞ 随時

○旅行会社対策

- ・企画提案活動の実施

<時期> 通年

- ・商談会の実施

<時期> 未定

○観光物産 PR イベント等への出展

- ・ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

<時期等> 未定

- ・名鉄の泊りハイキング 春フェスタ 2024

<時期等> 未定

- ・名古屋サイクルスポーツデイズ 2024

<時期等> 未定

○ドライブマップの改訂

<時期> 2月

<和歌山へ招く>

(9) 国際観光推進 (6,000 千円) 16 件

メディア展開や旅行商品の造成、展覧会や商談会への参加などにより誘客を促進します。なかでも急増する FIT（個人観光客）対策としてメディア対策を強化します。

○メディア招聘

- ・テレビ、雑誌、旅行ガイドブック、インフルエンサー

<時期等> 随時

○取材、ロケ、ロケハン等の支援

- ・スケジュール作成、関係機関等との調整、現地案内

<時期等> 随時

○海外現地セールスプロモーション

<時期等> 未定

<和歌山へ招く>

(10) わかやまファンクラブ運営 (480 千円) 400 人

わかやまファンクラブを運営し、ファンクラブメンバーからの情報発信とリピーター化を促進します。

○「紀州浪漫」の送付

<時期> 年4回

○ファンクラブ限定イベントの実施

<時期> 11月（予定）

<コンベンション他>

(11) 広域連携 (1,000 千円)

公益社団法人日本観光振興協会、近畿府県観光連盟と広域観光振興を推進します。

- 日本観光振興協会関西支部主催の観光展に出展 (再掲)
- 広域マップの作成

〈コンベンション他〉

(12) 県との協働事業 (16,219 千円)

①アウトドア観光 (再掲)

和歌山の豊かな自然を活かしたアウトドア・フィールドの魅力を発信するとともに、体験メニューのブラッシュアップ等を実施し、誘客を促進します。

②サイクリング王国わかやま (再掲)

サイクリストに魅力的な周遊ルート、JR きのくに線サイクルトレイン、サイクリストに優しい宿など、自転車で安心して走行でき、楽しめるエリアである「サイクリング王国わかやま」を国内外へ発信し、周遊を促進します。

③わかやま歴史物語

神話の時代から近代に至る豊富な歴史ストーリーや歴史資産と人、文化、食などを含めた「和歌山の歴史の楽しみ方」を 100 の旅モデルで紹介し、地域に存在する観光素材のブラッシュアップを図りながら和歌山の歴史・文化を幅広く PR します。

また、周遊を楽しんでいただけるようにテーマを絞ったモバイルスタンプラリーの実施に併せ、ウェブサイトでの発信のほか、メディア及び旅行会社への情報提供を実施します。

④プロモーションの実施

各都市圏の主要旅行会社へ、観光素材やモデルコースの提案を行うとともに、テレビ局や新聞社などのメディアを訪問し記事等での露出を図ります。

○夏プロモーション

- <時 期> 6～7月 (予定)
- <対 象> 京阪神 大阪、神戸、京都
- 西日本 岡山、広島、福岡
- 東 海 名古屋

○春プロモーション

- <時 期> 5年2～3月 (予定)
- <対 象> 京阪神 大阪、神戸、京都
- 西日本 岡山、広島、福岡
- 東 海 名古屋

〈和歌山へ招く〉

⑤教育旅行誘致推進

「ほんまもん体験」をはじめ「世界遺産の保全」「世界農業遺産」「防災学習」などの和歌山ならではの学習プログラムを組み込んだ修学・教育旅行を旅行会社や学校へのプロモーション活動を実施することで誘致します。

○セールス活動の実施

<時期等> 首都圏 : 5月～6年2月(対高校商戦時期)

中京圏・中国圏: 6月～9月(対中学高校商戦時期)

<対象> 首都圏、中京圏、近畿圏、中国圏、
学校関係者、旅行会社等

○県内校への働きかけ

県内を目的地とした修学・教育旅行が選択肢の一つとして定着し、前年度に引き続き実施させるよう県内教育関係者に対し、働きかけを行います。

○スクールキャラバンの実施(和歌山県体験型教育旅行誘致協議会事業)

<内容> 埼玉県内の高等学校、中京圏の中学校・高等学校、
中国圏の中学校、首都圏の高等学校等

○現地視察調査支援

<時期等> 通年

<対象> 学校関係者、旅行会社

〈和歌山へ招く〉

⑥スポーツ合宿の誘致

本県の温暖な気候と国体を契機に整備された施設を活用して、県教育委員会との連携により各種団体のスポーツ合宿を誘致します。

○パンフレットを活用した旅行会社に向けたプロモーションを実施

⑦温泉地と地元食材を活かした誘客プロモーション

県内の協議会や温泉宿泊施設等と連携し、和歌山の温泉地や地元食材の魅力を発信します。

〈和歌山へ招く〉

2 和歌山の魅力向上

(1) 語り部のおもてなし向上

(1,000千円)

紀州語り部のおもてなし力の向上を促す研修会等や相互連携を図る連絡会議を実施すると共に、次世代の担い手とされる人材確保等に努めます。

○紀州語り部ガイドレベルアップ支援

<時期> 随時

○紀州語り部研修会、連絡会議の実施

<時期等> 1月～3月 県内外1箇所から3箇所（研修会）

<時期等> 1月～3月 県内2箇所（連絡会議）

○紀州語り部次世代担い手の育成

<時期等> 5月～6月 県内4箇所（実践編&お見合い編）

〈和歌山でもてなす〉

(2) ほんまもん体験ページの利便性向上 (2,500千円)

観光連盟ホームページに掲載している「ほんまもん体験」ページに予約・決済機能を導入し、ページ閲覧者がワンストップで決済まで完了できるよう利便性の向上を図ります。

<時期> 随時

〈和歌山へ招く〉

(3) インスタグラムを活用した魅力発信 (1,000千円)

Instagramを活用し、コンテスト形式で魅力的な本県観光地の写真の投稿キャンペーンを実施し、国内外に発信します。また、優秀作品をフォトライブラリーに掲載することで、旅行会社等に提供します。

○フォトコンテストの実施

<時期> 通年（毎月優秀作品を選定）

〈和歌山へ招く〉

(4) 「わかやま紀州館」における和歌山県産品展示運営 (1,000千円)

和歌山県産品のアンテナショップとしての「わかやま紀州館」での和歌山県産品展示運営の管理を行います。

<時期> 通年

〈和歌山を売り出す〉

(5) 本部、観光センター運営 (24,901千円)

観光連盟本部、わかやま紀州館、名古屋観光センターの運営を行うとともに、PRツール、パンフレット、ノベルティ等を作成します。

<時期> 通年

〈法人、和歌山を売り出す、和歌山へ招く〉

各事業の（事業費）は、人件費・事務費・減価償却費を除く